

石井地区まちづくり協議会

# まちづくり計画

ありがとう！

みんなでつくる  
笑顔あふれるまち

石井



平成24年12月

## もくじ

はじめに	1
1. 石井地区まちづくり協議会設立の経緯	3
2. 計画策定の趣旨	5
3. 計画の特徴	5
4. 計画策定について	5
5. まちづくりの基本理念	7
6. 基本計画と主な取り組み	
I. 安心・安全なまちづくり	8
II. 豊かな自然・豊かな歴史をいかすまちづくり	10
III. 豊富な人材をいかしたまちづくり	12
IV. 健康で明るく住みよいまちづくり	14
V. ふれあい・助け合いでつながるまちづくり	16
参考資料	18
これが、わたしたちの石井地区です	26
石井の歴史	28
夢のある町 石井	29

## はじめに

ご存じのように地方分権の進展に伴い、地方には特色ある個性的なまちづくりが求められています。

そうしたことから、松山市では、住民自治の基本的な精神に基づき住民と行政がお互いの立場で役割を分担しながら協働で進めるまちづくり、いわゆる「自分たちのまちは自分たちの手でつくる」を目的とした「松山市地域におけるまちづくり条例」が制定されました。

石井地区におきましては、町内会をはじめ、各種団体や地域住民のご賛同を得て「ありがとう！みんなでつくる笑顔あふれるまち石井」を目指して「石井地区まちづくり協議会」を平成23年5月に設立いたしました。

このまちづくり計画は、町ごとの説明会、石井地区内を見て歩き、地域課題や地域資源を発見したり、住民のアンケート調査を行うなど、事業部会ごとに活動計画の協議を重ね、地域住民の智慧と工夫と意見を出しあいながら2年にわたって、石井地区の将来について協議をしてきた汗の結晶です。

中にはすでに取りこんでいるものから、長期的に取り組む必要があるものまでさまざまな計画が盛りこまれています。どれをとっても石井地区の発展になくてはならない活動であると考えています。

今後は、このまちづくり計画に基づき「ありがとう！みんなでつくる笑顔あふれるまち石井」の実現に向け地区内の組織・企業はもちろん、行政とも連携・協働しながら各種活動を積極的に取り組んでいきたいと考えています。

最後になりましたが、石井地区まちづくり計画の作成にあたりまして、松山市市民参画まちづくり課のご指導、ご協力、藤目節夫愛媛大学名誉教授の適切なアドバイス、また、2年間にわたりご協議を重ねて頂い方々に改めて深く感謝する次第であります。

平成24年12月

石井地区まちづくり協議会 会長 池田 秀雄

## 石井地区まちづくり計画の完成に寄せて

シンクタンク『惣』代表 藤目 節夫  
愛媛大学名誉教授・理博

地域アイデンティティが問われる時代において、地域が輝くための必須の条件の一つは、「自分達のまちは自分達の手で」の分権理念に基づくまちづくりの実践である。この理念の実現に向けて「松山市地域におけるまちづくり条例」が制定され、その中で「まちづくり協議会」が行政の協働のまちづくりのパートナーとして規定された。「石井地区まちづくり協議会」もこの流れを受けて設立されたまちづくり協議会の一つである。

まちづくりにおいて、活動の主体となる組織の設立は重要であるが、それのみでまちづくりの推進が保障されるものではない。さらには、まちづくり協議会が主体になり、地域を「知る・考える・計画する・創る」のまちづくりのプロセスを経る必要がある。石井地区まちづくり協議会では、みんなの力を結集し、2年間かけてこのプロセスを忠実に歩み、この度、完成度の高い素晴らしい「まちづくり計画」を立案された。

まちづくり協議会がまちづくりにおいて果たすべき主要な機能は、①まちづくりのプラットフォーム、②政策立案機能、であるが、地域のあらゆる活動団体が参加して計画が成り立っている点で①が、実現性に配慮した完成度の高い計画という点で②が、それぞれ担保されており、賞賛に値する計画と言って過言ではない。

しかしながら、まちづくりにおいては素晴らしい計画を作ることが最終のゴールではなく、素晴らしいまちを「創る」ことが最終の目的である。それゆえ、この計画の真の評価は、「創る」プロセスを経るまで待たなくてはならない。「創る」活動が立派な成果を上げるための必要条件の一つは、計画に対する地域住民の思い入れである。この思い入れは、計画づくりに出した知恵と汗が多いほど強くなると言われている。そうだとすると、石井地区のまちづくり計画には多くの人の思い入れが入っているはずであり、それゆえに、今後の素晴らしいまちづくりの展開が大いに期待されるところである。

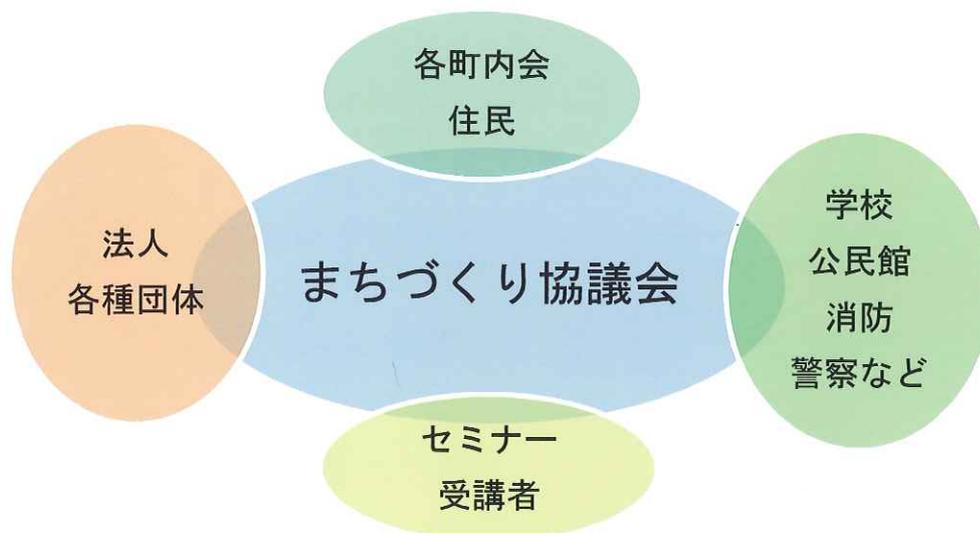
人口約6万人の巨大コミュニティにおいて、まちづくり協議会が設立され、素晴らしい計画が立案されることだけでも賞賛に値するが、さらには一歩進んで、素晴らしいまちづくりが今後展開され、地域とともにそれに関わる人々も成長することを願ってやまない。

# 1. 石井地区まちづくり協議会設立の経緯

## まちづくり協議会とは

今日の地方分権の流れの中で、魅力的で個性ある地域づくりのためには、かつての行政主導から、その地域に暮らす住民が主体となって行政と対等な立場で役割を分担しながら連携・協力し合ってまちづくりに取り組むことが必要になっています。

松山市においても平成21年3月に「松山市地域におけるまちづくり条例」が制定され、地域コミュニティが自己決定・自己責任によるまちづくりを継続して推進していけるよう、一定の権限と財源を地域に移譲し、地域分権型社会の実現を目指しています。住民一人ひとりの思いをまちづくりに生かし、地域のさまざまな意見を調整して合意を得ることのできるのが、各種団体・組織の連携によるネットワーク型の住民自治組織「まちづくり協議会」です。



## 石井地区の現状と課題

石井地区では、大部分の住民が住みやすい安心・安全なまちだと感じています。また、豊かな自然や文化・歴史、豊富な人材に恵まれた地域です。しかし、一方で、少子高齢化や情報通信技術の発達、都市化の進展といった社会の変化の中、住民同士の交流は少なくなり、連帯意識や助け合いの精神が薄れつつあります。このような課題を一つひとつ解決し、さらに地域の魅力をいかしたまちづくりに取り組んでいくのは、この石井に住む私たち住民です。

## 石井地区まちづくり協議会設立の歩み

石井地区においては、平成21年度に「石井地区まちづくり協議会設立準備会」を立ち上げ、2年間にわたって住民へのアンケート調査、各町内会・小中学校・公民館などの幅広い地域団体からなる準備会での話し合い、地区住民への説明会、まちづくり通信の石井地区全戸配布などにより住民への理解と協力を丁寧に行いながら、設立に向けて準備を行いました。その間、まちづくりの基本理念・組織・活動内容などを盛り込んだ規約案を策定する一方で、まちづくりのスローガン「ありがとう！みんなでつくる笑顔あふれるまち石井」をつくり、マスコットキャラクターを公募して住民への意識の浸透を図りました。

平成23年5月22日、設立のための準備が整ったため、「石井地区まちづくり協議会」を設立し、5月30日付で松山市から条例に基づく組織として正式に承認されました。

### 現在までの流れ

社会情勢の変化 少子高齢化・財政難・地域コミュニティ力低下など社会問題の複雑化



地方分権の時代へ 自分たちの町は自分たちの手で



平成21年3月「松山市地域におけるまちづくり条例」制定

石井地区まちづくり協議会設立準備会



平成21年4月地域団体からなる準備会立ち上げ・住民アンケート・住民説明会・まちづくり通信での啓発規約案、スローガン、マスコットキャラクター決定

まちづくり協議会設立

平成23年5月22日設立総会



まちづくりスタート



まちあるき

平成23年度、24年度 あいさつ運動、花いっぱい運動、石井の歌作成(歌詞公募)キャラクター名決定、まちあるき、まちづくり計画策定

## 2. 計画策定の趣旨

子どもから高齢者のすべての住民が、もっといきいきとして笑顔で明るく暮らせるまちとなるよう、住民みんなで知恵と力を合わせてまちづくりを進めていきます。そして、「石井に住んでよかった」と心から誇りに思い、感謝できるまち、未来を担う子どもたちが夢を育み安心して住み続けたいと思える次世代へと続く石井のまちにするために、石井地区の特色を生かしたまちづくり計画を策定しました。

## 3. 計画の特徴

誰かがしてくれるまちづくりや、誰かにやらせられるまちづくりでなく、みんなが「やりたいまちづくり」を目指します。そのためには、目的や実施計画が誰にでもわかりやすいこと、実現性の高いこと、そして住民が楽しんで計画が実行できることを念頭に計画作りをしました。

## 4. 計画策定について

### (1) 計画期間

平成24年度からの10年間とし、具体的な取り組みごとに短期（1～3年）、中期（3～5年）または長期（5～10年）の達成目標を設定しました。社会情勢の変動の著しい現状を踏まえ、5年後に見直します。

### (2) 基本的な考え方

#### ①基本理念と基本計画、重点的な取り組み

規約に掲げた「安心・安全なまちづくり」、「豊かな自然、豊かな歴史をいかすまちづくり」、「豊富な人材をいかしたまちづくり」、「健康で明るく住みよいまちづくり」、「ふれあい、助け合いでつながるまちづくり」の5つの基本理念を柱とし、それを支える20の基本計画、さらに住民が実行していく重点的な取り組みについてまとめています。

#### ②評価

毎年、事業計画ごとに目標達成度を明確にし、成果と課題をきちんと見直すことで、より住民の要望に即したまちづくりを行います。

#### ③住民主体

まちづくりは住民主体で行います。より多くの住民がまちづくりに関心を持ち積極的に参加できるよう工夫して各事業を進めていきます。「みんなで作るまちづくり」の実現のため、実行の主体と連携する団体等を明確化しました。

- ・「〇〇（団体名）」：まちづくり協議会が連携して取り組む団体
- ・「行政」：行政が実施すべき事業
- ・「住民」：主に住民個人が取り組むべき事業

### (3) まちづくり計画策定の方針

#### 未来へと続くまち

住み続けたいまちづくり

「未来を担う子供たちに夢と安心を！」

【視点】

10年後の石井が見える

- ・一つ一つの事業の実践で未来につなぐ
- ・毎年、事業の達成度を評価 → 成果・課題の見直し  
必要に応じて5年で見直し

#### 20の基本計画

どうすればいいのか？

実現のためのプラン

【視点】

① 実現のための確かな柱

- ・現状を住民の目で把握  
まちあるき
- ・基本理念実現のための確かな計画  
各部で意見調整

#### 取り組み

私たちのためにやりたい！やる！  
実践と達成感

【視点】

② みんなでつくるまちづくり

- ・住民主体となれる実施計画  
誰にでもわかる  
参加したいと思える取り組み
- ・住民が楽しいと感じる取り組み  
→ 達成感

#### 5つの基本理念

どんなまちにしたいのか？

「みんながいきいきとして笑顔で  
明るく暮らしたい！」

【視点】

③ 住民みんなが笑顔になれるまちづくり

- ・住民の願いをいかす
- ・石井らしさをいかす

#### 現状と課題

今どんなまちなのか？

身近にある課題の洗い出し

【視点】

④ 住民の意見を広く集める

- ・住民アンケートの実施
- ・多くの地域団体からなる準備会での話し合い

## 5. まちづくりの基本理念

「ありがとう！みんなでつくる笑顔あふれるまち石井」

### 5つの基本理念

### 20の基本計画

#### I. 安心・安全なまちづくり

- (1) 防犯・防災対策の強化
- (2) 交通事故防止に対する取り組み強化
- (3) 災害時の安心体制づくり
- (4) 子どもやお年寄りなどの安全対策の推進



#### II. 豊かな自然・豊かな歴史をいかすまちづくり

- (1) 自然を生かした新しいまちづくり
- (2) 美しい環境が広がるまちづくり
- (3) 史跡の掘り起しと伝統行事の継承
- (4) 郷土の歴史・文化学習活動の充実



#### III. 豊富な人材をいかしたまちづくり

- (1) みんなでつくるまちづくり
- (2) 情報を共有しつながるまちづくり
- (3) 財政基盤の安定



#### IV. 健康で明るく住みよいまちづくり

- (1) スポーツ、レクリエーション活動の充実
- (2) 誰もが健康なまちづくり
- (3) 生涯学習活動への取り組み
- (4) 人権尊重の取り組み
- (5) 子どもの健全育成



#### V. ふれあい・助け合いでつながるまちづくり

- (1) 人が交流し絆を深めるまちづくり
- (2) 福祉活動の啓発と強化
- (3) 小地域福祉活動
- (4) 福祉ニーズの収集



## 6. 基本計画と主な取り組み

### I. 安心・安全なまちづくり

誰もが心身共に安心して安全な生活ができるよう、関係機関・団体と連携して防犯・防災活動を実施するとともに、特に被害者になりやすい子どもや高齢者を地域で支える仕組みづくりに取り組みます。

基本計画	重点的な取り組み	協働団体	期間	担当部
(1)防犯・防災 対策の強化	①青色防犯パトロール 定時・夏休み・年末に実施	防犯連絡協 警察・学校 交通安全協会	短期	生活 安全部
	②防犯灯・防犯カメラの設置と維持管理	警察・行政 町内会		
	③防災訓練の実施 水防・防火・炊き出し等の訓練	自主防災・消防 消防団・女性防 火クラブ		
	④河川・水路等危険個所の調査・整備 危険箇所マップ作成 ため池等への「危険」「○○禁止」等旗掲示	町内会		
	⑤防災・防犯講習の実施 要援護者に対する災害支援対策の強化 大雨・洪水・土砂災害・暴風・地震・火災の対処法に ついて	消防・消防団 町内会		
(2)交通事故 防止に対する 取り組み強化	①交通危険箇所の調査・整備 公道内・交通事故多発箇所の住民周知	交通安全 町内会	短期	生活 安全部
	②通学路安全点検・整備	交通安全 町内会・PTA		
	③交通マナー教室の開催	学校		
	④交通安全機器の点検・整備 カーブミラー・ストップマークなどの維持・点検	警察・交通安全		

基本計画	重点的な取り組み	協働団体	期間	担当部
(3)災害時の安心体制づくり	①緊急時支援体制の構築 事故・災害時等の災害弱者を地域全体で支援する仕組みづくり 相互応援協定・自主防災組織拡充・福祉施設との連携 自主防災組織活動の活性化 地域統一の防災演習の実施(年1回)	消防・自主防災 警察・民児協	短期	生活安全部
	②避難所運営訓練の実施 小学校体育館において実施	消防・警察・学校		
(4)子どもやお年寄りなどの安全対策の推進	①声かけ運動の展開 「あいさつ運動」(特に隣近所の人と)	住民・学校	短期	生活安全部
	②子ども見守り活動の実施 「学校安全の日」交差点での交通指導及び誘導 集団登下校時の見守り 不審者情報提供・事故・犯罪発生状況等マップ作成	警察・学校・防犯 連絡協・住民		



## Ⅱ. 豊かな自然・豊かな歴史をいかすまちづくり

石井地区は、豊かな自然や歴史・文化に恵まれた地域です。環境や歴史文化活動に住民が主体的・自主的に参加する取り組みをおこなうことで、先人が育んできた地域の財産を大切に守っていきます。さらに未来に向けて人と自然が共存できるまち、歴史や文化が息づくまちづくりを官民協働で推進します。

基本計画	重点的な取り組み	協働団体	期間	担当部
(1)自然を生かした新しいまちづくり	①川・神社仏閣・公園・道路などの散策ルートの整備と活用	公民館 土地改良区	中期	環境部
	②環境学習会の実施	行政・町内会	短期	
	③小野川・内川などに親しみ川遊びのできる環境の整備と活用	行政・町内会 土地改良区	長期	
(2)美しい環境が広がるまちづくり	①石井地区大清掃の実施	住民	短期	
	②小野川・内川などの河川美化清掃一斉活動	行政・町内会 土地改良区		
	③河川・水路の浄化と清掃 ポイ捨て防止の徹底	行政 土地改良区	中期	
	④街路樹の保全活動	行政	短期	
	⑤四季を通じた花いっぱい運動の推進 苗作り・植栽・協力者表彰・地区の花	住民・町内会 企業・学校		
	⑥ゴミ対策の強化 ゴミ出しルールの徹底・不法投棄の監視	住民・行政 町内会		
	⑦エコ活動意識の向上と実践化 ゴミ減量への意識啓発	行政	中期	



基本計画	重点的な取り組み	協働団体	期間	担当部
(3) 史跡の掘り起しと伝統行事の継承	① 史跡の所在・史跡の由来調査 神社・仏閣・記念碑・常夜灯・地藏・句碑など	公民館・学校	短期	文化部
	② 文化財マップの作成 有形文化財・記念物・歴史的建造物・文化的景観など 石井地区航空写真の収集整理			
	③ 伝統行事の調査・継承 獅子舞競演会・亥の子・相撲大会 祭り・盆おどり・文化祭			
	④ 地域に生かせる文化的な知識・技能・芸能等を有する人材の発掘			
(4) 郷土の歴史・文化学習活動の充実	① 石井の歴史・文化財・史跡めぐり開催 歴史文化資料の整理・管理 各町内会史の編集（郷土史） 親子史跡めぐり			



### Ⅲ. 豊富な人材をいかしたまちづくり

石井地区の人口は約 58,000 人で、松山市の 11%、全市 41 地区の No1 を誇っています。ひとはまちの活力の源です。この豊かな人材を引き出し、企業や関係団体と連携し、住民パワーを十分に発揮できる体制づくりをします。一方で、広域であるために希薄になりがちな情報の収集と発信を丁寧に行い、住民の理解と関心・参加意欲を高めることで、住民主体のまちづくりを推進します。

また、活動の基盤である財政を安定化することで、持続可能なまちづくりを行います。

基本計画	重点的な取り組み	協働団体	期間	担当部
(1) みんなで つくるまちづくり	①人材発掘とボランティアの育成 人材バンク 学生・学校と連携 中学生ボランティアの促進	町内会・学校 行政	中期	広報部
	②企業や関係団体との連携強化 行事への参画推進 ノウハウをいかした協働	企業・行政 関係団体	短期	
	③まちの魅力の再発見・発信 写真・絵画・川柳などのコンテストや展示 カルタ・スゴロク・カレンダー・マップなどの作成	町内会・学校	中期	
	④ニーズの調査 現在のまちづくりに関する要望 未来に続くまちづくり調査	町内会・行政	短期	
	⑤公益的な活動に伴う体制づくりや活動の推進 情報発信・行政協力体制の構築 公益的な地域活動や機能の強化	町内会・行政	短期	
	⑥交流センターの整備 大勢の人が集える場所や拠点の整備	行政	短期	



基本計画	重点的な取り組み	協働団体	期間	担当部
(2)情報を共有しつつなごまちづくり	①情報の収集 協議会の活動・地域のイベント・地域団体の活動	行政・町内会 地域団体	短期	広報部
	②地域資源のデータ整理 自然・景観・史跡・文化活動・物産・地域施設	行政		
	③情報発信ツールの整備 広報紙・ホームページ・ブログ・町内回覧や掲示板 スーパー・銀行・病院などでの発信	行政・町内会 企業		
(3)財政基盤の安定	①行政や企業からの助成金・補助金を活用 イベント協賛金	行政・企業	短期	
	②広告収入の確保 広報紙への出稿依頼	企業		
	③市広報紙配布請負の検討 配布体制づくり	行政・町内会	長期	
	④コミュニティビジネスの確立 リサイクル品回収 フリーマーケット・バザー 企業とコラボ企画	企業・住民	長期	

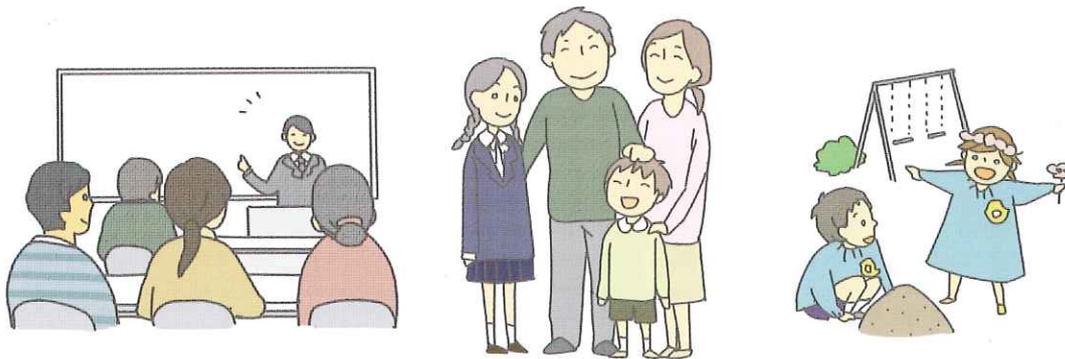


#### IV. 健康で明るく住みよいまちづくり

“石井に住んでよかったネ”と思えるよう、子どもからお年寄りまでの誰もが、健康で明るく、生きがいのある生活づくりを目指します。また、公民館・集会所等を拠点とする生涯学習活動や人権学習活動を充実させ、子ども達が豊かに育つための環境整備にも取り組みます。

基本計画	重点的な取り組み	協働団体	期間	担当部
(1)スポーツ・レクリエーション活動の充実	①石井公民館との連携強化 石井体育祭:応援合戦 ふれあい広場:獅子舞競演会	公民館	短期	文化部
	②生涯スポーツ大会検討 グランドゴルフ、ウォークラリーなど	公民館		
	③小学校対抗スポーツ大会	小学校	長期	
	④各学校と連携強化	小中学校	短期	
(2)誰もが健康なまちづくり	①健康で長寿なまちづくり 食生活改善・料理教室(高齢者向けの料理、へちま料理、生活習慣病予防の料理) 長寿表彰・顕彰 健康に関する講演会(元気の秘訣) 健康に関するパネル紹介	公民館 保健センター 南部分室	短期	女性部
	②健康診断の受診の向上 石井の現状についてパネル紹介 高齢者の体力づくり・「健康づくり教室」の開催	保健センター 南部分室		長期
	③乳幼児の健康づくり			
	④日常生活習慣の改善 健康体操・ウォーキングコース 健康イベント・ウォーキングイベントの定期開催		短期	

基本計画	重点的な取り組み	協働団体	期間	担当部
(3)生涯学習活動への取り組み	①公民館活動の充実 PTA役員とまち協役員の交流を促進	公民館 福祉団体	短期	文化部
	②世代を超えて地域でつながる仕組みづくり 高齢者クラブとPTAとの交流等3世代交流会	公民館		
(4)人権尊重の取り組み	①集会所と連携した地区人権講座・ふるさと大学・高齢者学級の開催	公民館 古川・朝生田 ふれあいセンター	短期	文化部
	②地域(分館)毎の人権学習	公民館		
(5)子どもの健全育成	①子育て支援の充実 子育てサロン・読み聞かせ教室の拡充	公民館 南部児童センター ボランティア		
	②子どもの遊び場づくり 自然体験・食体験・昔遊びなど	町内会・学校		
	③子どもの学習機会の提供 職業体験・農体験など 社会人としての素養を培い、地域のまちづくりに積極的に参画できる環境整備	学校・企業		

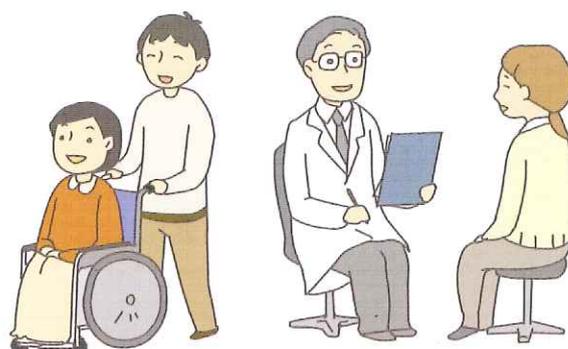


## V. ふれあい・助け合いでつながるまちづくり

地域の都市化に伴い、住民間の関わりが希薄になり、少子高齢化により地域福祉に係る課題も多くなっています。このような現状を克服し、住民が愛着を持ち住み続けることができるまちにするためには、子どもから高齢者まで人と人のつながりを「かたち」にしていくことが大切です。お互いを理解し交流する活動をとおして、向こう三軒両隣のつながりが地域全体に広がるよう取り組んでいきます。

基本計画	重点的な取り組み	協働団体	期間	担当部
(1)人が交流し絆を深めるまちづくり	①世代間の交流 小中学校、幼稚園、保育園、南部児童センターとの交流を積極的に行う 地域の名人さんと遊ぼう！各種団体のブースをつくる！	小中学校 幼稚園・保育園 南部児童センター 地区社協	短期	福祉部
	②福祉体験事業 障がいのある方とのコミュニケーション	学校		
	③サロンの拡充 高齢者・障がいの方・子育てママのサロン	おふくの会など 地区社協		
	④各関係団体・ボランティア団体との交流 世代間交流事業の開催	関係団体		
	⑤イベントへの協力 健康についての広報活動 地域交流バザー 心の健康フォーラム参加	保健センター 南部分室		女性部
(2)福祉活動の啓発と強化	①認知症の理解と支援 認知症サポーター養成講座	地域包括支援センター石井・久谷	短期	福祉部
	②多様な障がいの特性を理解 障がいの方の講演会 各種行事への招待(声かけ)	町内会 おふくの会ほか 障がい者団体	中期	
	③虐待、DVに関する理解 今、地域では(パネルディスカッション)	警察・福祉事務所・中央相談所 保健センター 南部分室		

基本計画	重点的な取り組み	協働団体	期間	担当部
(3)小地域福祉活動	①見守り活動の充実 一人暮らし高齢者声かけ運動の促進	公民館・学校 地区社協 地区民児協	短期	福祉部
	②日常生活支え合い活動の充実 困りごと訪問相談・サロン(憩いの場提供)	公民館・町内会 学校・地区社協 地区民児協		
	③地域福祉サービス事業、ボランティア活動の推進 生きがいデイサービス・給食サービス	公民館・学校 地区社協		
	④小地域住民座談会の推進	町内会 地区社協		
(4)福祉ニーズの収集	①見守り安心カードの拡充 独居高齢者の把握と支援体制の確立	町内会 消防・地区社協 地区民児協	中期	福祉部
	②福祉マップの充実 高齢者・子ども・障がいの方の利用できる事業所情報についてのリストづくり	消防・町内会 地区社協		
	③災害時要援護者リスト、支援体制の充実	消防・警察 地区社協		



## 石井地区「まちづくりアンケート」調査結果報告（概要）

「石井地区まちづくり協議会設立準備会」では、新しいまちづくりに役立てることを目的に平成21年9月から「石井地区をどのように思っているか」・「何を求めているのか」などについてアンケート調査を実施しました。この調査結果報告はダイジェスト版であり、石井地区の皆様にご覧いただきやすくお伝えするために作成したものです。この結果を住民の声として、今後の石井地区のまちづくりに活用してまいります。

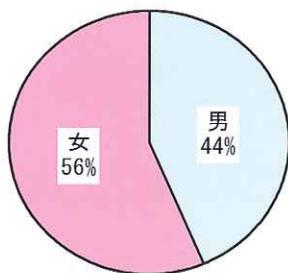
### 【調査の概要】

- (1) 調査地域 石井全域
- (2) 調査数 675人
- (3) 回答数 618人（回答率91.6%）

### 【アンケートの概要】

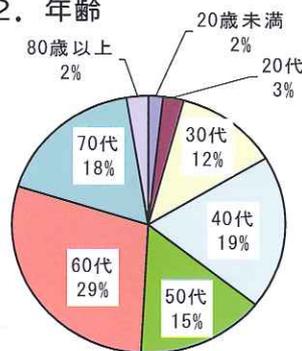
アンケートは石井地区にお住まいの方々が、石井をどのように思っているのか、また、今後、石井地区をどのようなまちにしたいのか、皆様のお気持ちを13の質問（小問数32問）についてお答えいただきました。ここではその一部をご紹介しますが、くわしく知りたい方は、石井支所で資料をご覧いただけますので、支所にお申し出下さい。

#### Q1-1. 性別



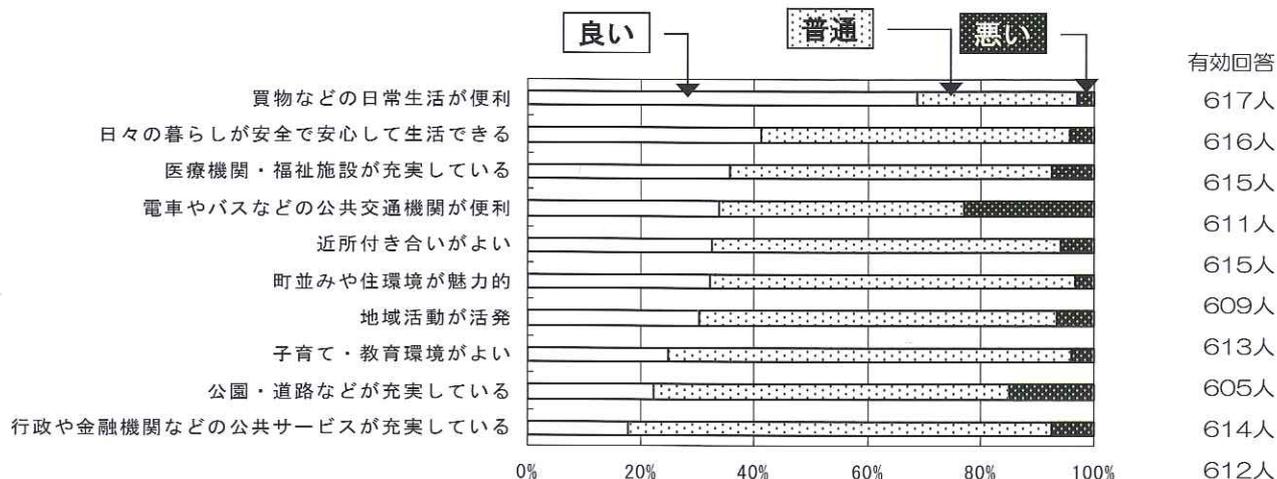
有効回答:609人

#### Q1-2. 年齢



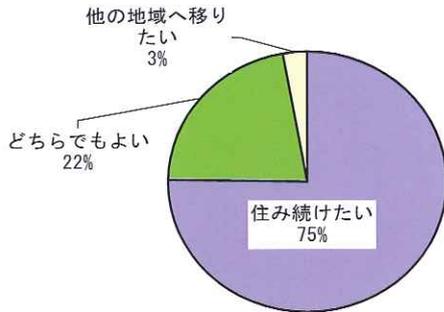
有効回答:610人

#### Q2. 今住んでいるまちをどう思いますか。



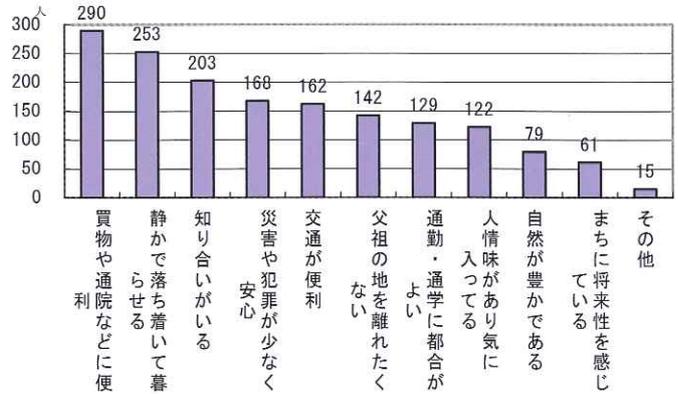
Q2において、石井地区が良いと回答された理由の上位は、「買物などの日常生活が便利」、「日々の暮らしが安全で、安心して暮らせる」、「医療機関・福祉施設が充実している」となっており、Q4において、住み続けたいが75%となっている。

Q4. 今後も住み続けたいですか。



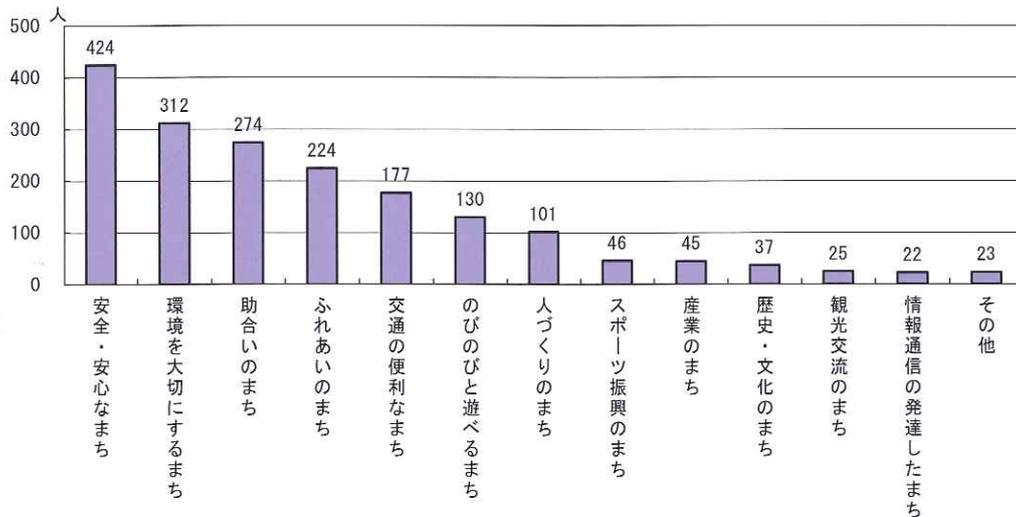
有効回答:618人

Q5-1. 住み続けたい理由は（複数回答可）



有効回答:598人

Q6. 今住んでいるまちが、将来どのようなまちになればよいと思うか。（複数回答可）



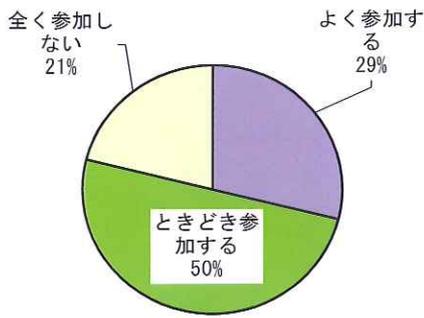
有効回答:602人

Q2において、「日々の暮らしが、安全で安心して生活できるか」の問いに、良い41%、普通55%で、良いと普通を合わせると96%の住民が「安全で安心なまち」と思っている。

一方、Q6の「将来どんなまちになればよいか」の問いに対して、回答者の70%が「安全で安心なまちづくり」を、希望している。

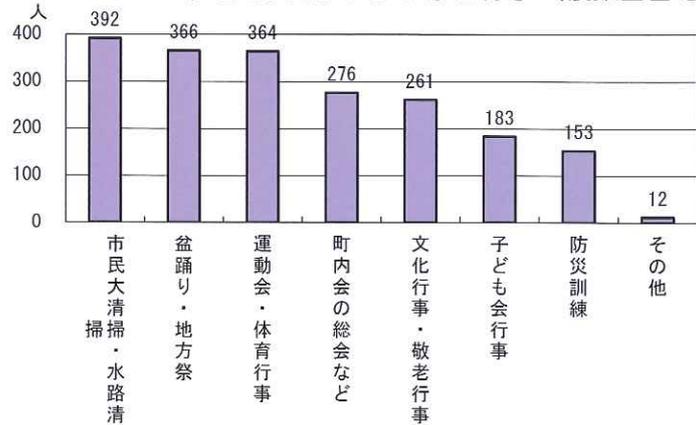
住民が求めている「安全・安心なまち」とは何なのか。真に住民のニーズにあった具体的な取組みが今後必要であり、石井地区の「まちづくり協議会」の最重点課題と思われる。

Q8. 地域行事へ参加しているか



有効回答:613人

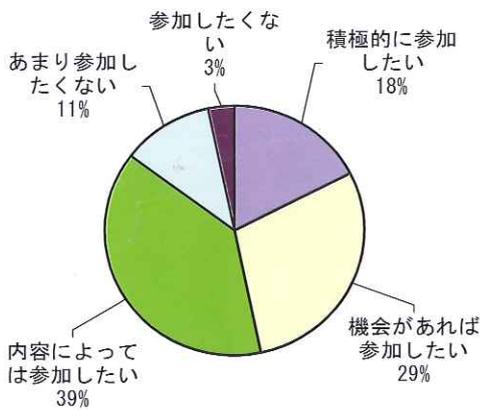
Q9-1. 参加したことがある行事（複数回答可）



有効回答:482人

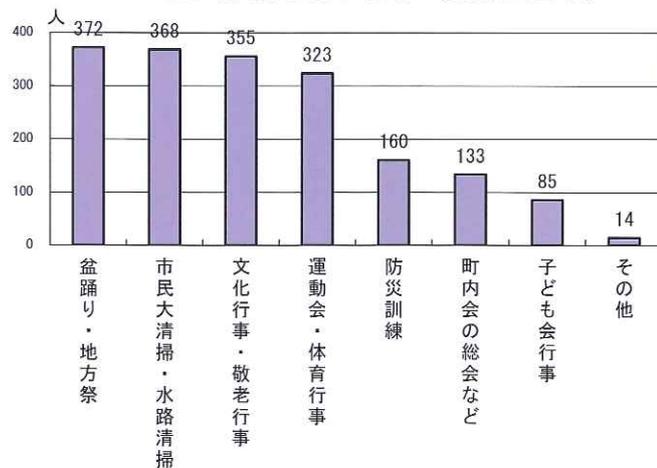
町内会単位で実施している、町内行事への参加が多い。地域の活性化を図るには、今後住民の参加しやすい行事を「まちづくり協議会」がバックアップして地域全体に拡大することにより、住民のコミュニケーションが向上し、また犯罪などの抑止効果にもつながるものと思われる。

Q10-1. 地域行事に参加したいか



有効回答:607人

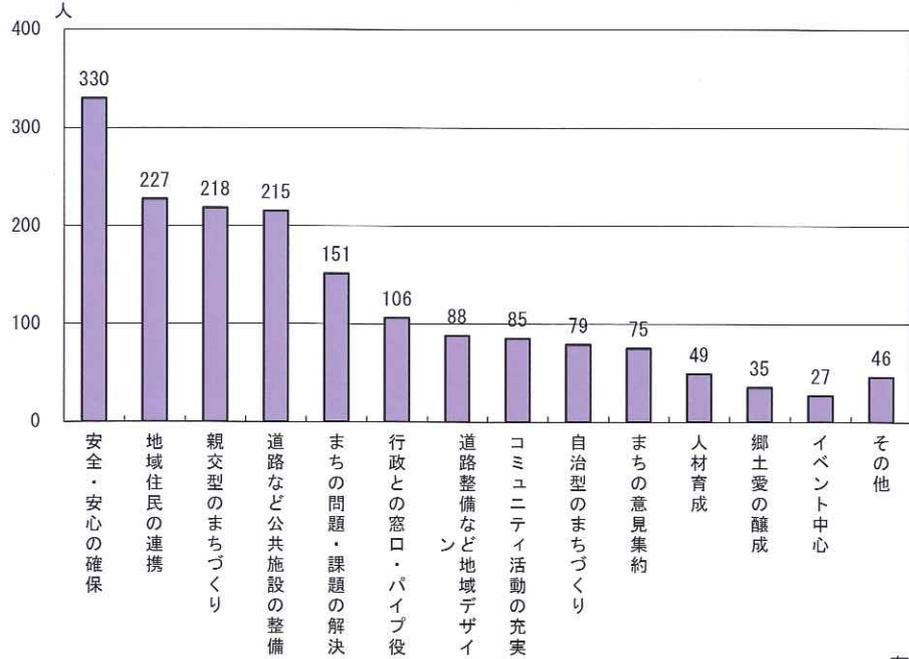
Q10-2. 参加したい行事（複数回答可）



有効回答:585人

盆踊りなど住民全体で実施する行事への参加希望が多い。行事によっては近隣町内会等が合同で実施することにより、地域コミュニティ活性化が更に図られるものと思われる。

Q11. 「石井地区まちづくり協議会」に何を期待するか（複数回答可）



有効回答:586人

安全・安心の確保（56%）、地域住民の連携（39%）、親交型のまちづくり（37%）、道路などの公共施設の整備（37%）を希望している住民が多い。

これからの石井地区のまちづくりは、「何をしていくか」・「何から取り組んでいくか」・「どのようになりたいのか」など細かい分析のもと、実行できるものから着手することが最重要課題だと思われます。

## 児童・生徒の「石井地区まちづくりアンケート」結果報告(概要)

「石井地区まちづくり協議会設立準備会」では、石井地区の児童生徒が「石井地区をどのように思っているか」・「何を求めているのか」などについてアンケート調査を実施しました。この調査結果報告は、皆様にアンケート結果をわかりやすくお伝えするために作成したものです。今後より詳細な分析を進め、この結果を児童生徒の声として、先に実施した住民アンケートの結果と合わせて今後の石井地区のまちづくりに活用してまいります。

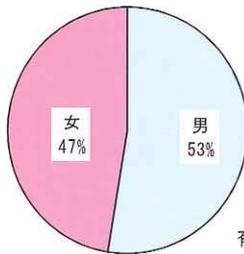
### 【調査の概要】

- (1) 調査対象 石井小学校、椿小学校、石井東小学校、石井北小学校の5、6年生(各校2クラス)  
南中学校、南第二中学校、椿中学校の1～3年生(各校2クラス)  
和泉町内会の小中学生(双葉小学校、雄新中学校 各40名)
- (2) 調査数 1,146人

### 【アンケートの概要】

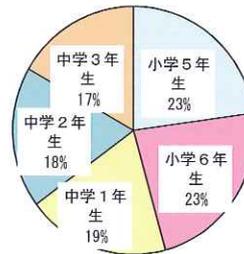
アンケートは石井地区の児童生徒が、石井をどのように思っているのか、また、今後、石井地区をどのようなまちにしたいのか、その気持ちを8の質問(小問数18問)についてお答えいただきました。

#### Q1-1. 性別



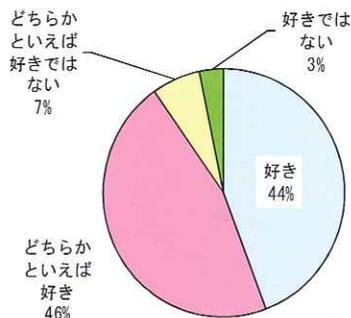
有効回答: 1144人

#### Q1-2. 学年



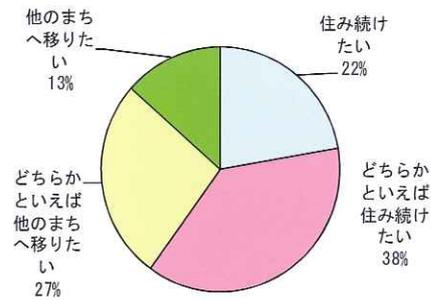
有効回答: 1146人

#### Q2. 住んでいるまちは好きですか。



有効回答: 1143人

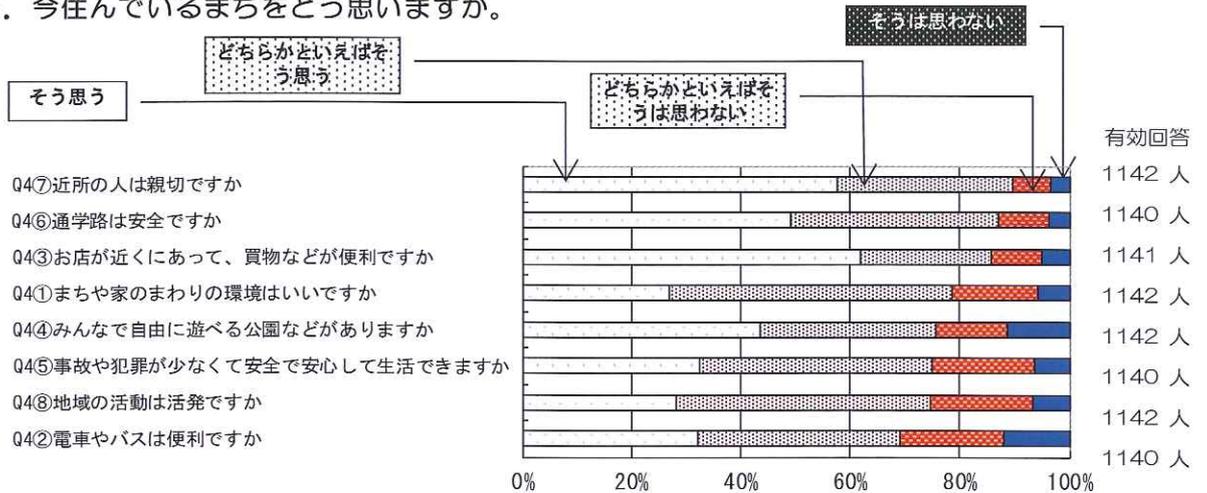
#### Q3. おとなになっても住み続けたいですか。



有効回答: 1142人

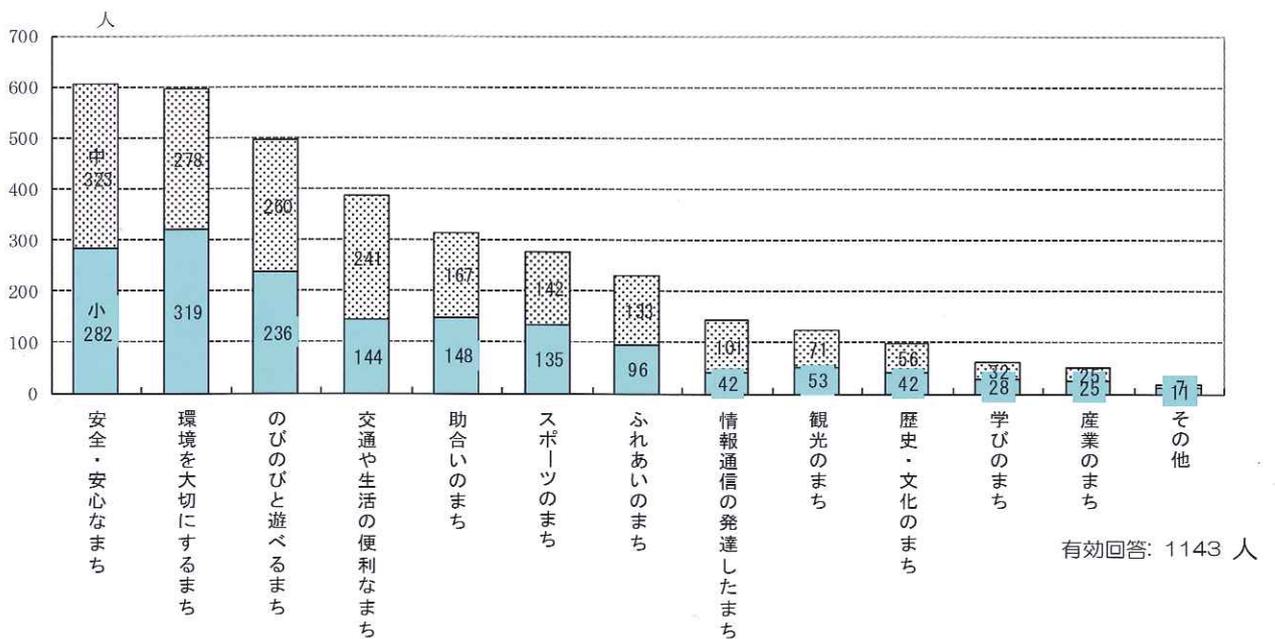
Q2で住んでいるまちが「好き」「どちらかといえば好き」を合わせると約9割の子どもたちが石井地区を好ましいと感じている。また、おとなになっても住み続けたいと思っている人が約6割を占めている。これはQ4で判るように、住んでいるまちの状況が好ましいと感じている人が多いことからであると考えられる。

Q4. 今住んでいるまちをどう思いますか。



近所付き合いや安全・安心、環境面、生活の利便性が良いと感じている人が、概ね8割を超えており、暮らしやすいと感じている人が多数を占めている。ただ交通の利便性については、不便と感じている人の数が多い。

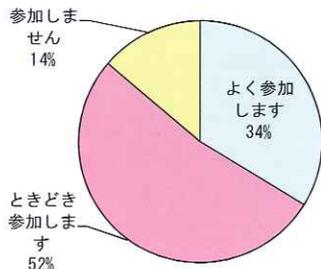
Q5. 今住んでいるまちが、将来どのようなまちになればよいと思うか。（複数回答可）



社会人向けのアンケートにおいては、安全・安心なまちを挙げたものが他の回答を圧倒していた。児童生徒においても安全・安心のまちが第1位となつてはいるが、環境を大切にするまちがほぼ拮抗しており、若年層では環境に対する意識がより高いといえる。

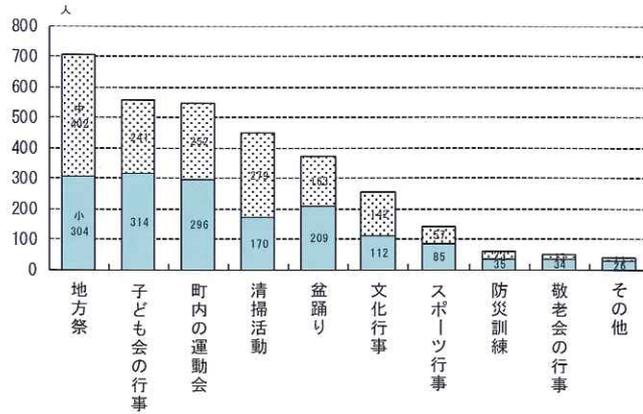
住民が求めている「安全・安心なまち」「環境を大切にするまち」に向け、ニーズにあった具体的な取組みが今後必要であり、石井地区の「まちづくり協議会」の最重点課題と思われる。

Q6. 地域行事へ参加しているか



有効回答: 1143 人

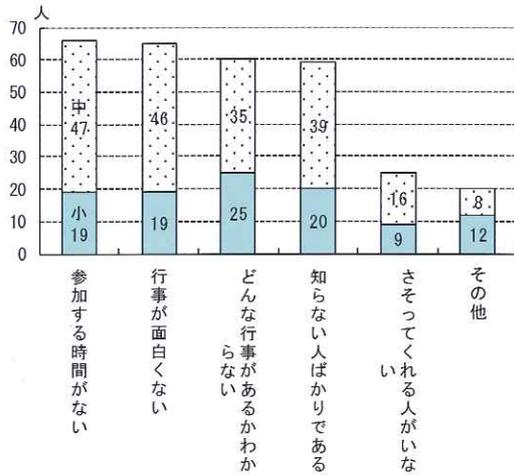
Q7-1. 参加したことがある行事（複数回答可）



有効回答: 983 人

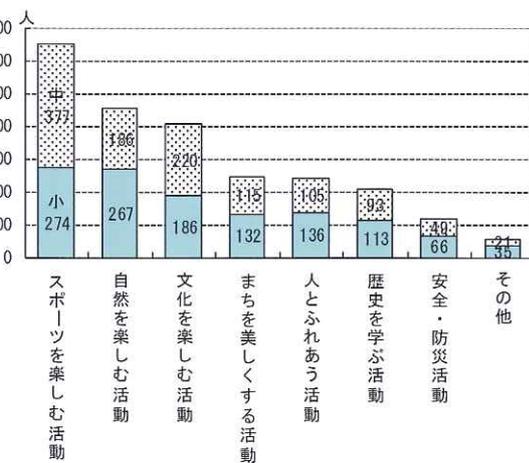
社会人向けのアンケートでは、地域行事に全く参加しないものが2割を超えていたが、児童生徒では約1割であり、このまま社会人となっても地域行事へ参加してもらえるように取り組んでいく必要があると考える。また、参加したことがある行事としては、地方祭や子ども会行事が多い。地域の活性化を図るには、まず、住民がお互いに顔見知りとなることが前提となることから、今後児童・生徒も参加しやすい行事を「まちづくり協議会」がバックアップして地域全体に拡大する必要があるものと思われる。

Q7-2. 参加しない理由



有効回答: 155 人

Q8. 参加したい活動（複数回答可）



有効回答: 1098 人

地域行事に参加しないと答えた人の割合は小学生では11%であったが、中学生では16%と増加している。参加しない理由としては時間がないの回答も多いが、行事が面白くない、どんな行事があるかわからないをあげているものが多い。このことから今後まちづくり協議会においては、小中学校生にも興味を持てる事業を検討するとともに、どのような行事をいつ行うかなどの広報活動にも力を入れていく必要があると考えられる。また行事に参加してもらうことにより、知らない人ばかりであるから参加しないという人の減少につながると考える。小中学生の興味を引く事業としてはQ8にあるように、スポーツが一番人気であり、自然や文化がそれに続いている。子どもたちにどんどん行事に参加してもらい、まちづくりに参画し、地域コミュニティ活性化が更に図られるような行事を考えていきたい。

主な史跡・美観地区など



天山神社



東山古墳



椿神社



今村久兵衛顕彰碑



縦淵城跡



星岡山古戦場跡



正岡子規の句碑



星岡山と星が岡公園



内川の渡り鳥



小野川の桜並木と菜の花



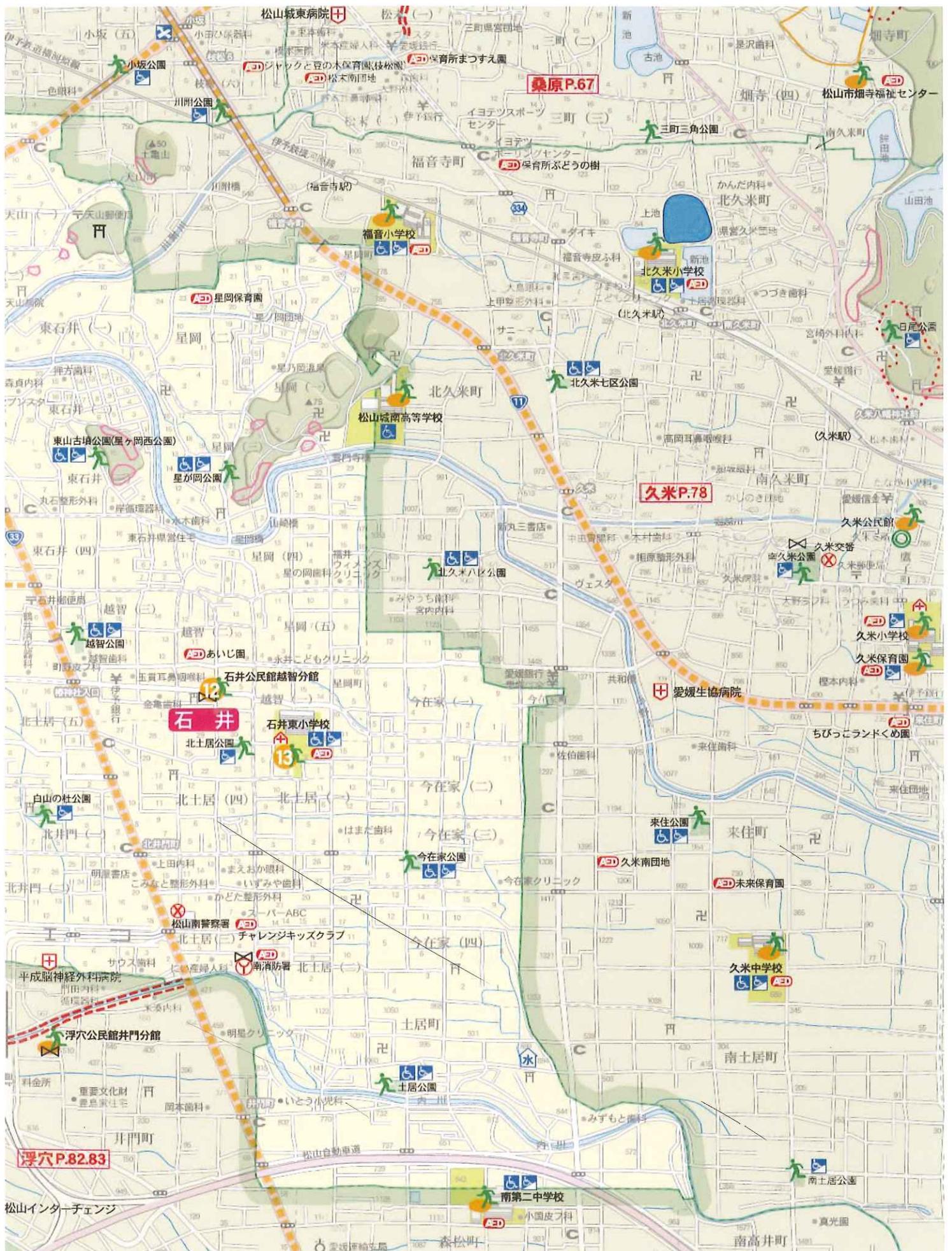
はなみずき通りの紅葉



田園風景

# 『これが、わたしたちの石井地区です』





## 石井の歴史

〈旧石器維持代〉	天山、東山でサヌカイト製のナイフ形石器出土
〈弥生時代〉	石井の広範囲で弥生土器や遺構出土（天山、西石井、古川、越智など）
〈古墳時代・古代〉	天山・東山・星岡古墳群
〈奈良時代〉	伊豫国風土記に天山の記載 久米郡石井郷の田部直五百依が造東大寺司に貢進
〈平安時代〉	延喜式に伊豫豆比古命神社の記載
1223年（貞応2年）	河野通久 伊豫国久米郡石井郷の地頭に任命、縦淵城(現城山神社)
1333年（正慶2年）	土居通増、得能通綱ら鎌倉幕府方の北条時直軍を撃退。(星岡山)
1630年（宝永7年）	大飢饉で村人の身代わりに庄屋の今村久兵衛が処刑される
1663年（寛文3年）	石井村が東石井村と西石井村に分かれる
1758年（宝暦8年）	松山領内久米郡尼山村を天山村と改称
1835年（天保6年）	越智郡大三島(現今治市大三島町)から集団移住で越智町誕生
1860年（万延元年）	久米郡土居村が北土居村と南土居村に分かれる
1885年（明治18年）	土佐新道開通(国道33号)
1887年（明治20年）	石井尋常小学校開校
1890年（明治23年）	町村制施行により旧温泉郡石井村発足(戸数710戸、人口4,910人)
1896年（明治29年）	伊予鉄道会社の森松線開通
1901年（明治34年）	石井尋常小学校、高等科併設
1935年（昭和10年）	石井村立青年学校が石井尋常小学校内に設立
1947年（昭和22年）	石井村立石井小学校・石井中学校開校
1951年（昭和26年）	石井公民館開設
1962年（昭和37年）	松山市に編入合併 村立石井小・中学校は市立に移管 松山市石井支所増設
1965年（昭和40年）	伊予鉄道会社の森松線廃止
1970年（昭和45年）	浮穴中学校と統合し松山市立南中学校開校
1974年（昭和49年）	松山南環状線（天山～和泉北区間）の開通
1976年（昭和51年）	石井公民館と石井支所併設で完工、松山市立椿小学校開校
1979年（昭和54年）	松山市立石井東小学校開校
1981年（昭和56年）	松山市立南第二中学校開校
1986年（昭和61年）	松山市立椿中学校分離新設
1988年（昭和63年）	松山市立石井北小学校開校
1989年（平成元年）	松山市南消防署完成
1991年（平成3年）	松山市立福音小学校開校
1996年（平成8年）	石井公民館・石井支所増改築、松山南警察署新設
2005年（平成17年）	市道千舟町古川線3工区開通（古川はなみずき通り）
2005年（平成17年）	市道北久米和泉線1工区開通（ふれあいカメラア通り：一部）
2012年（平成24年）	市道北久米和泉線2工区開通（久兵衛通り）

# 夢のある町石井

作詞:造道 高大

作曲:逸見 佳子

Soprano

The musical score is written for Soprano in G major, 4/4 time. It consists of six staves of music with Japanese lyrics underneath. Chord symbols (G, Bm, C, D7, Em) are placed above the notes. Measure numbers 5, 9, 13, 17, and 21 are indicated at the start of their respective staves.

いしいにすんでよかーたねすみよ  
 いまちのふぜいがいっぱいゆきか  
 うひとのえがおがいっぱいみんな  
 のささえであーかるいくらしー  
 ゆたかなきぼうがひろがるいしい  
 ゆたかなきぼうがひろがるしい

## 夢のある町 石井

一 石井に住んでよかつたね

住みよい町の風情が一杯

行き交う人の笑顔がいっぱい

みんなの支えで 明るい暮らし

豊かな希望が ひろがる石井

二 石井歩けば 思い出す

今も変わらぬ 人情あふれ

語り合う人 笑顔がいっぱい

あいさつで始めよう 町づくり

未来にはばたく ひろがる石井

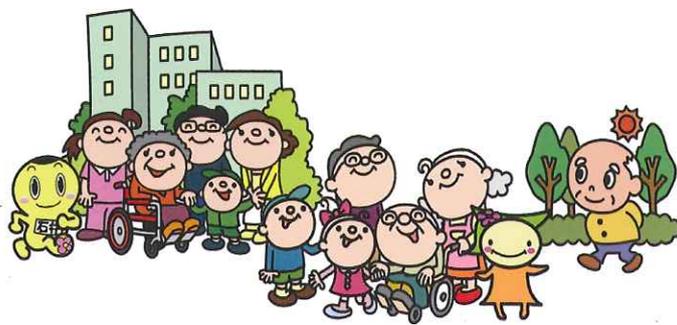
三 石井といえば 椿さん

鎮守の杜を 彩る祭り

活気あふれる 笑顔がいっぱい

神輿の出番で 最高潮

平和を祈って ひろがる石井



## 石井地区まちづくり協議会

事務局：松山市居相町1丁目8-26

松山市役所石井支所内

Tel&Fax 089-904-4939

E-mail [ishiimachikyo@leo.e-catv.ne.jp](mailto:ishiimachikyo@leo.e-catv.ne.jp)